

【対象年齢】 3～5 歳児

【確認事項】 ナットが小さいので取り扱いには十分に注意する（活動後、床などに落ちていないか確認）

準備する物	
・プロジェクター、ipad	動画を映し出す環境を整える
・ペットボトル （炭酸飲料 500ml）	1 人 1 本（家庭に協力して頂き準備する。側面に模様のない炭酸飲料ボトルが見やすい） ※中の水はクラスの状態に合わせて子どもが入れる又は保育士が入れて準備する。
・醤油入れ、ナット	1 人 1 セット ※pj より配布
・雑巾	机ごとに 1 枚
・水の入ったコップ（少量）	醤油さしが浮くかどうか確かめる用
※ビニールシート等	机や床の水濡れ防止策等は必要に応じて行う

活動①

「^{ふらんし}浮沈子」の言葉と共に、水に浮いたものを沈めさせることができることに興味を持ち、実験を楽しむ。

活動内容

★動画「水 パート 1」をみんなで視聴。

・動画内に出てくるクイズでは、子どもたちと一緒に考える。（予測）

※2分47秒あたりで動画を一旦停止

<問題> ペットボトルの中に浮かせた醤油さしを下に沈める方法は？

①ひっくりかえす ②振る ③押す 答え：③ペットボトルを押す

※動画を再スタート

・実験をする合言葉「じっけん！」を子どもたちと一緒に言う。
・浮いたものを沈めさせる方法を知る。

・動画視聴後、「キツネ博士から素敵なお魚とナットが届いたよ」等、届いたことを子どもたちに伝える。

・「浮沈子」をみんなで作る（実験）。

※道具はクラス、子どもの状況に合わせて準備する。

※水入れ等出来る限り子どもを巻き込んで行えると良い。また失敗行動も大切な学びになる。

※醤油さしに水を入れないとどうなるか？水の入れる量によってはどう変化するか？なども時間に余裕があれば見せて行けると良い。

・実験する際は、しっかりとペットボトルのキャップが閉まっているか確認。

・子ども達自身で沈めることができることを確認。面白さを体験。

称賛して実験を終了する。

使う物

・プロジェクター、ipad

・ペットボトル
・プレゼント袋
・醤油さし
・ナット

・水
・雑巾

※事前に保育士は実験を行い醤油さし内の水の量によってどう変化するかを確認しておいてください。

<醤油さしの準備・水の目安>

①ナットを付けた醤油さしのお腹の部分を、親指と人差し指で潰す様につまみ、準備した水の中に口部分を入れ、指を離して水を吸い込ませる。

②ペットボトルに入れる前に水の入ったコップに浮くかどうかチェックをしてください。（調整する）

※醤油さしの水が **多い** →沈んでしまう

少ない →浮きすぎてしまう



<ペットボトルの種類>

・種類によっては、容器が硬いものがあり子どもの力で押しにくいものもあるので要確認。